

公募審査（採択）結果の公表

令和5年2月7日
経済産業省経済産業政策局産業人材課

事業名：令和4年度補正 リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業費補助金

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
株式会社野村総合研究所	4010001054032	3,278,293,000

- (提案事業者名)
- ①株式会社野村総合研究所
 - ②株式会社電通ライブ
 - ③凸版印刷株式会社
 - ④株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
 - ⑤PwCコンサルティング合同会社
- ※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

(審査委員属性)

大学教授
弁護士
会計士・弁護士

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
株式会社野村総合研究所	63	92	77	232
A社	64	52	62	178
B社	63	82	79	224
C社	65	41	75	181
D社	62	83	80	225

提案事業者名	提案書の記載内容	提案内容が本事業の目的に合致しているか。	事業の実施方法が具体的に現実的か。	事業の実施方法等について、本事業の成果を高めるための効果的な工夫が見られるか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	事業を遂行するための資力、資金調達能力を有しているか。資金計画は妥当か。	本事業の関連分野に関する知見を有しているか。	事業の実施スケジュールが現実的か。	必要となる経費・費目を過不足無く考慮し、適正な積算が行われているか。	コストパフォーマンスが優れているか。	合計
株式会社野村総合研究所	適	22	12	68	46	25	25	10	11	13	232
A社	適	18	9	50	36	19	19	11	8	8	178
B社	適	26	12	73	37	21	23	12	9	11	224
C社	適	18	9	59	29	18	20	9	11	8	181
D社	適	26	13	73	39	24	27	10	7	6	225

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
株式会社野村総合研究所	・人材面での知見、過去の実績などがあり、また今回も人材政策分野で経験の深い専門家の協力を仰ぐなど、専門性の面で極めて特徴的な申請である。 ・本事業の対象となるターゲット層を調査結果等に基づき具体的に特定したうえでの提案になっており、提案内容がとても具体的になっている。 ・事業費、特に人件費の妥当性について検討を要する。
A社	・これまでの知見や経験は活かされているが、総合的にみて、あまり特徴の少ない申請であり、実効性が感じられる具体的な提案も少ない。 ・成果の出ているプログラムの内容やトレーニング方法の横展開といったアイデアは評価できる。 ・関連会社に対する外部委託比率が高いため、その必要性・金額の妥当性については、慎重に判断すべきである。
B社	・この分野に関する極めて高い専門性と経験に基づく提案である。 ・事務処理業務の支援ツールの導入が提案されており、これにより対象経費の正確かつ迅速な積算のみではなく、選定事業者・間接補助事業者の事務負担の軽減も期待できる。 ・活動状況を把握するため、間接補助事業者に対し、詳細な月次報告の提出を求める点はいよいが、間接補助事業者に過度な負担とならないか懸念がある。
C社	・今回の事業の特徴を捉えた記述が薄いという印象であり、事業目的にあった申請かどうか判断が難しかった。 ・より多くの個人に対して情報提供を行い、行動のきっかけを作るために、ロゴマークやスローガンを開発し、国民運動に発展させるという提案は大変評価できる。
D社	・整理された提案であり、細部にまで目が行き届いている。 ・広告事業や、政策効果分析、システム開発、更には労働移動の分野においてそれぞれ専門的知見を有する者と共同することが提案されており、これらの共同による効率的・効果的な運営が期待できる。 ・再委託・外注費の割合が高すぎるように思われる。